

安全確保のための電池取り扱い上の注意事項（リチウム一次電池）

リチウム電池は、電気エネルギーを有しており、またリチウム活物質、有機溶媒等の可燃性物質を内蔵しています。電池の取り扱いを誤りますと電池が充電、ショートされガス発生や反応熱で発火・破裂・発熱する原因となります。万一の事故を防止するため、次の警告事項を必ずお守り下さい。

① ショートさせないで下さい。

電池の（＋）と（－）を針金等で接続したり、金属製のネックレスやヘアピン等と一緒に持ち運んだり、保管しないで下さい。また、ごちゃまぜに収納しないで下さい。電池がショート状態になり、過大電流が流れたりして、電池を発火、発熱、漏液、破裂させる恐れがあります。

② 加熱しないで下さい。

電池を100℃以上に加熱すると、ガスケットやセパレータ等の樹脂材料が損傷して漏液したり、発火、破裂する原因となります。また、火中に投入すると破裂し、激しく燃えることがあります。

③ 直接ハンダ付けしないで下さい。

電池本体（缶）に直接ハンダ付けすると、加熱によってガスケットやセパレータ等の樹脂材料が損傷して漏液したり、発火、破裂する原因となります。また、ハンダ付け直後に異常が認められない場合にも、長期使用中に漏液等で搭載機器を損傷することがあります。

④ 充電しないで下さい。

電池を充電すると電池内部でガスが発生し、発火、破裂、膨張する原因となります。

⑤ 強制放電しないで下さい。

電池を外部電源により強制放電すると電圧が0V以下（転極）になり電池内部でガスが発生して発火、破裂、膨張する原因となります。

⑥ 分解したり加圧変形させないで下さい。

電池を分解すると発生するガスが喉を刺激したり、負極リチウムが発熱して発火する原因となります。また、電池を加圧変形させたり、落下あるいは強打するなど衝撃を与えると電池封口部の歪みにより漏液が生じたり、内部ショートにより発火、破裂、膨張する原因となります。

⑦ 電池を落下させたり、ガス排出弁に加圧・衝撃を加えないで下さい。

ガス排出弁に過度の圧力、落下等の衝撃を加えた場合、変形や弁作動、漏液を引き起こす原因となります。

⑧ 混合使用をしないで下さい。

電池を複数個使用する場合、種類の異なる電池と混ぜて使用したり、新しい電池と古い電池を混ぜて使用すると電圧や容量等の特性差から過放電される電池が発生し、発火、破裂、膨張する原因となります。

⑨ （＋）・（－）を逆接続しないで下さい。

電池の（＋）・（－）を逆接続すると、回路によっては電池がショートあるいは過放電され発火、破裂、発熱する原因となります。

⑩ 指定された用途以外に使用しないで下さい。

電圧や端子構造などが異なり、接触不良を起こしたり、電圧の相違などにより、電池を発火、発熱、漏液、破裂させる恐れがあります。

⑪ 電池から漏液や異臭がするときは、漏れた電解液に引火する恐れがありますので、直ちに火気から遠ざけて下さい。

⑫ 電池側面に樹脂フィルムを装着しているものは、そのフィルムをはがしたり、傷を付けしないで下さい。

電池がショートして発熱したり破裂することがあります。

⑬ コネクタ付電池については、リード線を無理に引っ張るなど、過度のストレスを加えないで下さい。

接続部端子の変形や断線の原因となります。

⑭ 導電性350 μ S/cm（水道水）以上の液体を付着させたり液中に投入しないで下さい。

電池に導電性350 μ S/cm（水道水）以上の液体を付着させたり液中に投入すると、電蝕および可燃性のガスが発生する原因となります。

⑮ 複数個で使用する場合は、必ず安全部品を付加して下さい。詳細は、弊社にご相談下さい。